

国語科 学習指導案

日時 平成18年6月30日(金) 第5校時
生徒 1年A組 30名(男子17名、女子13名)
授業者 教諭 川田 賢一

1. 教材名 「動物の睡眠と暮らし」

2. 教材について

この教材は、睡眠と暮らしという大変身近な話題であり、生徒も自分のものとして考えやすいものである。また、接続語に着目して文章の段落構成がとらえやすく、その展開に即して内容を要約しやすい文章である。

常に、本文から、自分の睡眠と暮らしについて振り返ることを念頭に置かせ、筆者の意見について、その内容を要約する力を身につけさせていきたい。

また、生徒の睡眠不足が言われて久しくなるが、依然改善されることはない。テレビの深夜放送を視聴したり、ゲームやインターネットなどを長い時間していたり、テスト前も学習のために夜遅くまで起きている。その睡眠不足が身体の具合に影響を与えたり、自律神経失調症の一種にかかってしまうこともある。本校の生徒においても同様の点が見られることから、睡眠の大切さ、本来の人間の睡眠と暮らしについてを、本教材を通じて考えさせ、改善させる機会としたい。

3. 生徒の実態

話の内容を相手に伝えるとき、単純な単語で表すことはできるが、短い文章にしてまとめる(要約)ことは苦手としている生徒が多い。前教材の「ものづくりの知恵」で、事実と意見を読み分けることや、話の中心をとらえることを学習し、本教材では、本文から、自分の睡眠と暮らしについて振り返る課題設定をし、その解決には筆者の意見の段落の内容を要約することに必要感を与えるようにしている。また、最初の導入では簡単な文章を要約することによって、生徒が要約することの苦手意識を取り除き、本教材の第3段落の要約への意欲につなげていきたい。

4. 研究の視点との関わり

(1)基礎・基本を明確に位置づけ、効果的な指導を進めるための指導計画の工夫

この教材では、論理の展開に即して内容をとらえ要約することを基礎・基本とする。その定着のために、前教材での既習事項を生かし、最初の時間に簡単な文章の要約をさせ、要約するためのポイント理解させることと要約の苦手意識をなくさせるようにしている。

また、本教材のはじめに「本文の筆者の意見をふまえて、自分の睡眠と暮らしについて振り返る」ことを目標とし、筆者の意見を要約することへの必要感を与えている。最後の授業で、目標についての作文をすることによって更なる深化とさせている。

(2)基礎・基本を重視し、意欲的な学びを促す問題解決の場面設定や指導方法の工夫

本時での本教材のはじめに設定した「本文の筆者の意見をふまえて、自分の睡眠と暮らしについて振り返る」という目標を解決するために、第三大段落の内容を要約させる。事実と意見を読み分けることや話の中心をとらえる既習事項を生かしながら、内容の要約を進めていく。また、要約するのに努力を要する生徒のために、事実と意見、話の中心にサイドラインをひかせることによって要約に近づき、全体の定着に努めていきたい。

また、最初の時間では、生徒の興味のある新聞雑誌などの記事を要約させ、要約することへの苦手意識を取り除くことや、本教材の最後の時間には振り返りの作文を書かせ、自分の考えを深化させることによって、意欲的な学びを促していきたい。

(3)一人一人の学びを共感的にとらえ、観点や場面・方法を明らかにした指導改善に生かす評価の工夫

授業時には座席表を用いながら、要約するために必要な事実や意見、話の中心にサイドラインをひかせる手だてを行い、定着させていきたい。また、周囲との交流により、自分の考えなどを客観的に振り返るような場面を設定し、達成感を味わわせたい。また、発言やノート観察から、全体の成果や課題を発見し生かした授業展開を行い、生徒の意欲を高めていきたい。

5. 教材の目標（評価規準）

国語への関心・意欲・態度	・論理の展開に即して内容をとらえ要約するために、接続語に着目したり、事実と意見を読み分けたり、話の中心部分を見つけ出そうとしている。 ・文章の内容を理解し、自分自身の睡眠と暮らしについて考えている。
話す・聞く能力	
書く能力	
読む能力	・論理の展開に即して内容をとらえ要約している。
言語についての知識・理解・技能	・話の内容を要約するために、事実と意見の違い、話の中心部分を理解する。

6. 指導計画（5時間）

時	主な学習内容	教師の関わり（○評価）
1	<p>次の文章を短くまとめて隣の人に伝えよう！！</p> <p>まずは、文章を短くまとめよう！！</p> <p>テレビで見たことがある記事だ。</p> <p>?短くまとめるのが難しい?</p> <p>事実と意見に分けてみよう。</p> <p>隣の人に記事の内容を伝えよう！！</p> <p>わかりやすかった。</p> <p>わかりにくい。</p> <p>要約するためのポイントを確認しよう！！</p>	<p>・生徒の関心のある新聞雑誌記事を提示する。</p> <p>・記事に線を引かせ、事実と意見、話の中心をとらえさせる。</p> <p>○【関】隣の人に伝えるために、わかりやすく要約したり、伝えようとしている。</p> <p>・話の中心をとらえ、それに必要な事実と意見をとらえる。ということを提示する。</p>

<p>2</p>	<p>みんなの睡眠時間はどのくらい？</p> <p>4時間 6時間 8時間 10時間</p> <p>「眠る」ことはどんなことだろう？</p> <p>体力の回復。 寝ないと死んじゃう。</p> <p>脳が活動しないから、頭が休まる。</p> <p>本文の筆者の意見をふまえて、自分の睡眠と暮らしについて振り返ってみよう。</p> <p>本文を読んで、初めて知ったことや疑問点を挙げよう。</p> <p>体内時計？ 昼間寝れば、夜起きても大丈夫？</p> <p>動物は生活にあった睡眠をちゃんととっているんだ。</p>	<p>・発表を聞きながら、他者との相違を確認させる。</p> <p>○【関】本文の内容から、自分の睡眠時間や「眠る」ことがどんなことか、生活を振り返り考えている。 (発言・ノート)</p> <p>・本文の範読を行い、発表させて、身近な問題があることを確認させる。</p> <p>○【関】範読を良く聞きながら、自分の意見を書いたり、発表している。 (発言・ノート)</p>
<p>3</p>	<p>本文を3つのまとまりに分けよう。</p> <p>※形式段落番号で答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・① 問題提起 ・②～⑪ 問題に対する具体例 ・⑫～⑯ 筆者の意見 <p>第二大段落をさらに3つに分けよう。</p> <p>※接続語に着目して答える。どんな事柄が説明されていたかも答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・②～④ 「<u>まず</u>、動物の…」⇒『睡眠量』 ・⑤～⑦ 「<u>次に</u>、ネズミを…」⇒『睡眠時間帯』 ・⑧～⑪ 「<u>また</u>、動物の…」⇒『寝方』 	<p>・既習を生かし、接続語に着目し、内容を理解しながら、大段落に分けさせる。</p> <p>○【知】接続語に着目し、内容を理解しながら、3つのまとまりに分けている。 (発言・ノート)</p> <p>・それぞれのキーワードやキーセンテンスをとらえさせる。</p> <p>○【読】話の中心部分をとらえている。 (発言・ノート)</p>

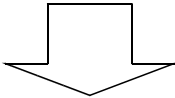
<p>4 本時</p>	<p>第三大段落の内容を要約しよう。</p> <p>《具体例（事実）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルの間は皆、似たり寄ったりの睡眠量。 ・夜行性のサルを除けば、夜になると寝る。 ・ヒトに近い類人猿はベッドを作って横になって寝る。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の睡眠も動物の習性である。 ・人間も体内時計に従って暮らしていた。 <p>しかし、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大都市などに24時間眠らない街ができ、夜中起きて昼間に寝るといった人たちが現れている。 <p>《意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間は昼間に活動し、夜に7、8時間の睡眠をとることが、自然の仕組みに従っているということだ。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《要約すると》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルの仲間が人間と同じ睡眠量・睡眠時間帯・寝方をしていることから、人間も自然の仕組みに従って、自らの体内時計に従って暮らすことが大切だ。 	<p>・既習事項</p> <p>「事実」＝客観的に見ても変わらないこと。</p> <p>「意見」＝主観的な考え・思考を確認する。</p> <p>・3つのキーワードにサイドラインをひかせる。</p> <p>①事実 ——線</p> <p>②意見 ~~~~~線</p> <p>③話の中心 □</p> <p>○【読】論理の展開に即して、内容を要約している。 (発言・ノート)</p>
<p>5</p>	<p>筆者の意見をふまえて、自分の睡眠と暮らしについて振り返ってみよう。</p> <p style="text-align: center;">○</p> <p style="text-align: center;">睡眠不足で頭が働かないのも、体内時計に従っていないからだ。</p> <p style="text-align: center;">○</p> <p style="text-align: center;">動物としての人間の暮らしを考えて、睡眠をしっかりとっていかないといけない。</p> <p>【教材のまとめ】</p>	<p>○【関】筆者の主張を理解して、自分の生活を振り返っている。 (発言・ノート・作文)</p>

7. 本時の展開（4 / 5 時間）

(1) 本時の目標

論理の展開に即して、内容を要約している。

(2) 本時の展開

生徒の活動・思考の流れ	教師の支援・評価規準
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>筆者の意見をふまえて、自分の睡眠と暮らしについて振り返ってみよう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>第三大段落（筆者の意見）の内容を要約しよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>第三大段落を音読してみよう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>話の中身を確認しよう。</p> </div> <p>サルの仲間の具体例がある。 ⇒第二大段落と同じキーワード（睡眠量・睡眠時間帯・寝方） 作者の意見・考えがある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p>第三大段落の内容を要約しよう。</p> </div> <p>《事実》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルの仲間は皆、似たり寄ったりの睡眠量。 ・夜行性のサルを除けば、夜になると寝る。 ・ヒトに近い類人猿はベッドを作って横になって寝る。 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の睡眠も動物の習性である。 ・人間も体内時計に従って暮らしていた。 <p>しかし、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大都市などに24時間眠らない街ができ、夜中起きて昼間に寝るという人たちが現れている。 <p>《意見》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間は昼間に活動し、夜に7, 8時間の睡眠をとることが、自然の仕組みに従っているということだ。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>◎サルの仲間が人間と同じ睡眠量・睡眠時間帯・寝方をして いることから、人間も自然の仕組みに従って、自らの体内 時計に従って暮らすことが大切だ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の1時間目に設定した課題の確認をする。 ⇒本時の学習内容の必要感を与える。 <ul style="list-style-type: none"> ・3つのキーワードにサイドラインをひかせる。 <div style="margin-top: 10px;"> <p>①事実 ——— 線</p> <p>②意見 ~~~~~ 線</p> <p>③話の中心 □</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単に要約出来ないであろう生徒を中心に、机間支援を行い、適切な声かけや事実や意見、話の中心にサイドラインをひかせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の確認 「事実」＝客観的に見ても変わらないこと。 「意見」＝主観的な考え・思考。を確認する。 ・矢印や接続語を使って、話の展開がわかりやすくさせる。 <p style="margin-top: 20px;">○【読】論理の展開に即して、内容を要約している。 (発言・ノート)</p>